

令和5年度 西尾市多文化共生協議会 議事概要

日時	2023年8月29日(火) 15:00~16:30
場所	西尾市役所2階 21会議室
出席者	近藤敦会長、近藤基宏(代理岡本)委員、中西真希委員、川部國弘委員、手嶋修一委員、岩瀬恵委員、高木祐子委員、内田誠委員、高橋文華委員、トランティホワ委員
欠席者	土井佳彦委員、木下典子委員、安藤寛一委員、磯貝明美委員、大河内リナ委員
事務局	西尾市 手嶋課長、佐野主任主査、山崎主査、鳥居主査

1. 開会

事務局(山崎)

- ・ 土井委員、木下委員、安藤委員、磯貝委員、大河内委員が欠席。

事務局(手嶋課長)

- ・ 本日は忙しい中、協議会に参加いただき感謝申し上げます
- ・ 本市は17万人中、約1万人の外国人市民が暮らしている。コロナ禍でいったんは減少になったが、現在はまた1万人を超えている。コロナ前と違い、ベトナムの方が急増している。そんな多彩な外国人市民が西尾市に暮らしていく中で、日本人と遜色ない暮らしができるように多文化共生プランを2022年3月に策定した。
委員の皆さんにはご協力を頂き感謝申し上げます。昨年度については半年間動いた実績報告としていたが、報告の仕方も含め昨年度頂いた意見を本日の調査シートに反映をしている。プランの中ではまた動きの鈍い所や、手付かずのところもあるので、皆様の忌憚のない意見、指摘をいただき、より良いものを作っていきたいと思っているので、よろしく願いしたい。

2. 議題

(1) 西尾市多文化共生推進プラン施策実施計画・状況調査について

事務局(鳥居)

多文化共生推進プラン施策実施計画について説明し、昨年度末に作成されたごみ動画について視聴。(別添)

岡本委員

ごみ動画についてはいいと思う。動画にたどり着くために、ポスターやパンフレット

などに QR コードを付けて貰えば色々案内しやすい。

事務局（鳥居）

仰る通り。今後、チラシやポスターなどで QR コードを付けて展開する予定。

近藤委員長

QR コードでもいいが、動画などからクリックするとごみの出し方にリンクできるようにすると便利では。入口は QR コードなどで入って行って、そこから動画を見ながら情報を得る。

中西委員

QR コードを付ける話があるが、ごみ袋に直接 QR コードを付けていくのはどうか。

近藤委員長

中国の方だと QR コードが読めないと聞いたことがあるが、在日中国人の方は見ることができる？

高橋委員

中国で買った中国のものを使っている場合だと読み込めないかも。QR コードは普通に読める。

岩瀬委員

ごみカレンダーに QR コードを付けるとよいのでは。毎年変わるので。

事務局（鳥居）

実はごみカレンダーと同じ内容が見ることができるさんあーるというアプリもあり、こちらも勧めていきたい。提案をしていく。

高木委員

やさしい日本語のごみ動画は誰向けか、日本人向けか。

事務局（鳥居）

昨年作成したときにしっかり確認はしていないが、外国人向けと思われる。

高木委員

漢字などが難しいし、話し方が速いため、日本人向けかと思った。

岩瀬委員、高橋委員、トラン委員

日本に住んでいる外国人からすると、話し方が早い、急いで話しているため聞き取りにくい、ちょっと難しいかも。もう少しゆっくりがいい。

事務局（鳥居）

Youtube の仕様と短くするというのを考えた結果、1 分強の動画をつくるということでは決めていた。その点については担当課へ情報共有し、次回以降へ活かしたい。

中西委員

西尾市での外国人キーパーソンの方の動きはどうか。ほかの市町村でも有効な取り組み方法がない。

事務局（手嶋課長）

前年から始めて、1 回しか行っていない。こういう会議で発掘できればいいが、例えば町内会長、PTA などをやって活躍している方に結び付けることができればいいと考えている。

岩瀬委員

地域つながり課のキーパーソンは災害が起こる前に、私たち外国の人が同じ外国の人たちにこういうもの準備しておいたほうがいいですよ、という情報を日々生活する中で発信する。例えば地域つながり課の Facebook をシェアしていき、情報を広めるなどもキーパーソンといえると考えていたが。

事務局（手嶋課長）

それも含まれる。例えば外国人会議もテーマが防災であれば危機管理課とコラボして開催し、ごみの出し方であればごみ減量課と協力してやっていくなどで、大きなくりの中で小さなキーパーソンを各課で作ってもらいたい、探していきたい。

高橋委員

ここに今日出席されている方々もキーパーソン。

事務局（手嶋課長）

その通りで、こういう活動にどんどん参加してもらいたいと思うが、会議をやって出てきてくださいと言っても集まらない。方法として活動をされている中で色々な人を勧誘して、誘うなりして参加を増やしていくしかない。現在防災のボランティアもあるが、毎年講座で勉強をするとか、いろんな防災のところで顔を出してもらいつな

ぎとめる。キーパーソンを探すというよりは、この分野はこの方、日本語教室で参加してくださる方がきっかけで参加だとかの積み重ねだと思う。

岩瀬委員

例えば教会関係の方たちのように影響力がある方だとか、自分が気になった情報を自分から周りにインターネットでシェアしてくれている人だとか、そういった方たちはすごく重要。工作中だとか家にいても有益な情報をすぐ広めてくれる。

高木委員

情報発信元がもっと情報を発信しないと有益ではなくなる。6月や8月の災害対策本部ができた時にきちんと情報は発信、周知されたのか。

事務局（鳥居）

6月や8月の災害時に災害対策本部ができたとき、情報発信を行っている。Facebookでいえば情報が広がりやすいようにポルトガル語、ベトナム語の情報誌を発信しているアカウントにも協力をして、一斉に注意する情報や、多言語コールセンターの情報を配信した。8月の時には通訳の方と相談をして、効果的な配信として目に留まりやすいよう被害の画像を同時に挙げたりして、かなりの反応を得た。

高木委員

市が情報発信をしているのはいいが、育てられた防災リーダー、キーパーソンがそこに関わっていない。そこが問題。

事務局（手嶋課長）

防災リーダーなどの講座は今まで単年度でしか動いていないため、そのような方をつなぎとめるのが本来の考え方なのは大切であるし、その通り。昨年講座を開いた前に受けて知識が止まっている方もいる。そういった人、また SNS をどう生かしていくかは考えていかないといけない。

近藤委員長

23 についても学生のボランティアが中々集まらないなどについて、そういった活動を行った、学習をしたなどの証明ができるようになると進学や就職に役立ったりすることもあるため、参加のモチベーションにつながるのではないかと。

岩瀬委員

自分のネットワークで色んな企業や派遣会社の通訳など集まって色々と活動してい

けるのではないかと考えて以前立ち上げを行ったが、何をすればいいかわからずそのまま自然消滅してしまったことがある。市のほうから何か連絡があれば動けるようにはなっているが、正直防災リーダーは情報発信するだけなのかと考えていた。

高木委員

西尾市で災害が起きた時に、外国人の方がこういったことで困るということの事例を覚えておいてもらい、有事の際には皆さんで情報発信するなり手助けするなりという所をお願いしたいという話をしていた。

川部委員

県のタウンミーティングで防災のテーマでこういった現場の声を上げてほしい。県営住宅は7割が外国人になっている。現場でリーダーを育てるためにはそこに関わっている人たちの意見を拾い上げてほしい。また県営住宅だけではなく、外国人のリーダーを作るのであれば企業の方の協力も必要だし協力を仰がないと。また学生のボランティア、一色高校だとか、高校生の皆さんが一人でも二人でも助けてほしい、実現できるとありがたい。

中西委員

どこの市町村も事例がないが、問題はこういった内容が単年度で行われ次の年に反映されていないのが一番の理由ではないかと感じる。

岩瀬委員

何か修了したとか、自分がそういった役目だというちいさなカードでもいいので形があるほうがわかりやすい。

高木委員

防災リーダーの研修も来年度もあるか聞かれ、来年度があるという前提で一回目の研修の際に昨年受けた方の修了証を渡せばいいのではという意見があった。

事務局（手嶋課長）

今まで単年であったが、単年で終わらせないようなつながり方を考えたい。災害が起きた時のボランティア支援本部も立ち上げることになっているが、外国人の多言語支援センターがバラバラで動いてもいけないため、上手く一緒に動けるようつなげていきたい。

近藤委員長

西尾市の多文化共生推進プラン施策実施計画・状況調査の結果については以上でよろしいか。

3. その他

近藤委員長

議題3のその他についてはなにかあるか。

高木委員

西尾に住んでいる方でブラジル国籍の方がNPO法人を立ち上げた。法人の通帳が作れない。過去自分が法人を立ち上げたときはできたが、民間のほうは外国籍というのが引っかかって作れないのではないか。市役所の行政の部分で金融機関のやり取りの信用を与えられる仕組みとかはできないのか。

事務局（手嶋課長）

ここ数年、金融機関は犯罪防止のため、口座を作ることが厳しくなっていることが影響あるのではないか。

岩瀬委員

口座もそうであるが、不動産物件も同じ。クレジットカードも作れない。現在はこれが現実かもしれない。私はブラジルにいたが、日本からブラジルに渡った父親も同じような思いをしている。日本が特別おかしいわけではないので、外国の方はこのことで怒る人は少ないと思う。

近藤委員長

住まいの観点で言えば、国や県レベルで外国人に住居を貸すことができるというリストを上げているところもあるが、非常に見づらいし、わかりづらい。ヨーロッパのほうでは色々な企業が旗を振って行っているが、愛知県だと中小企業などが特に外国人労働者を雇うことが多いので、そういったところが協力をすれば事業者のイメージも向上する。

事務局（手嶋課長）

基本的には民間の住宅あっせんはできないと考えているが、何かの認証によって公表しているところがあるのか。

近藤委員長

入居が困難である方を支援する法律があるが、外国人そのものは法律に載っていない。後で通達みたいな形で加えている。国土交通省がそういうサイトを作って探せるリストはあるが、物件が殆ど載っていない状況。

手嶋委員

本日の会議を聞いていて二つほど感じた。たまたま自分の家の隣が空き家になり、外国人の方が住み始めて、毎週末バーベキューを行っている。自分の寝室の真横で深夜まで行っている。当人たちには悪気はないのはわかっているが…回覧板を持っていったときに、静かにして頂けるかと話したらパタッとやめてくれた。自分がそういう行動できたのも、一色高校で定時制の関係で外国につながりのある生徒がたくさんいるし、現実の地域生活をわかっていたからだと考える。

二つ目は、一色高校では生徒が全員校長に暑中見舞いと年賀状を学校の宿題として出しているが、外国にルーツを持つ女子生徒さん、人の役に立ちたいという思いを書いていた。防災など、オンラインなどでも役に立てることがあれば彼らにできることをさせたい。

近藤委員長

他には。無いようなら、本日の会議を閉会する。最後に事務局からあるか。

事務局（山崎）

事務局から一点。次回の会議については今年度の実施内容を踏まえて令和6年に行う。現在の委員は任期が二年となっており令和6年3月31日までで一度切れる形となっている。また事務局より委員の募集の依頼をする。

以上